

消耗品・別売品のお買い求めについて

パッキンは消耗品です。(熱や蒸気にふれるため、ご使用にともない傷んでくる場合があります。)

6ヵ月～1年を目安にご確認ください。

破損や汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、以下のいずれかでお買い求めの上、交換してください。

- お買い上げの販売店
- タイガーお客様ご相談窓口(下記「連絡先」参照)
- 消耗品・別売品のご購入サイト
(下記「連絡先」参照)

品名	品番
ふたパッキン	PNV1036
パイプパッキン	MAA1014
パイプ*(2.2タイプ用)	MAA1062
パイプ*(3.0タイプ用)	MAA1063
パイプ*(4.0タイプ用)	MAA1064

*パイプは、パッキンつきです。

仕様

サイズ	2.2タイプ	3.0タイプ	4.0タイプ
実容量	2.2L	3.0L	4.0L
保温効力(10時間)	69度以上	74度以上	78度以上
保冷効力(10時間)	9度以下	7度以下	7度以下
外形寸法*(幅×奥行×高さ)	17.8×24.5×27.2cm	17.8×24.5×31.3cm	17.8×24.5×37.2cm
質量*	1.4kg	1.6kg	1.8kg

*おおよその数値です。

※保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯をせん下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから10時間放置した場合におけるその湯の温度です。

※保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水をせん下端まで満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度のときから10時間放置した場合におけるその水の温度です。

※実容量とは、製品付属のせんをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「少なめ容量」ではありません。

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.8をご覧ください。それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へのご連絡をお願いいたします。

- ①製品名
- ②品番
- ③製品の状況(できるだけ詳しく)
- ④購入日

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

ステンレスエアーポット とら～ず

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

連絡先 タイガー魔法瓶株式会社

本社
〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・修理のご相談 お客様ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ

有料でご案内させていただきます。

TEL(06)6906-2121

●受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除きます)

消耗品・別売品のご購入サイト

<http://www.tiger-shop.jp/>



修理に関するご案内・受付サイト

<https://www.tiger.jp/customer/repair.html>



ホームページアドレス <https://www.tiger.jp/>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

製品アンケートにご協力ください。

<http://enq.tiger.jp/web/33009/top/>

アンケートID: 1613MAAC



安全上のご注意

本体に貼ってあるご注意に関するシールは、はがさないでください。

乳幼児の手の届くところには置かない。

また、いたずらに注意する。

やけど・けがなどのおそれ。



倒したり、落したり、ぶつけたり、強い振動(特に上下の振動)、衝撃を加えない。

やけど・破損・内容物がこぼれるおそれ。押し板の安全ストッパーがロック(出ない)状態になっていても、本体を傾けたり、強い振動や衝撃を加えると、お湯が流れ出てやけどのおそれがあるので注意する。

コンロやストーブなど、火気の近くや、直射日光の当たる場所では使わない。

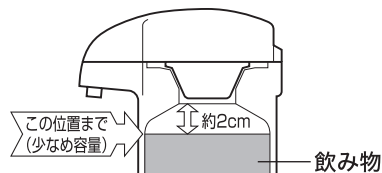
やけど・変形・変色の原因。

自動車の中では使わない。

やけど・汚れの原因。

飲み物の量は、図の位置までにする。

入れすぎると、ふたを閉めるときにあふれて、やけど・汚れの原因。



飲み物の保温・保冷以外に使わない。

缶ジュース・缶ビールなどを、容器ごと入れない。

変形し、故障の原因。

肩部分に熱いやカンをあてない。

転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。



保温性能が低下したときは使用しない。

熱いものを入れると本体が熱くなり、やけどなどのおそれ。

ドライアイス・炭酸飲料などは入れない。

内圧があがり、内容物が吹き出るおそれ。

牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。

腐敗・変質の原因。

また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体の内圧が上がり、内容物が吹き出て、けがなどのおそれ。

みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。

腐敗・変質・サビのおそれ。

お茶の葉・果肉などは入れない。

目づまりし、注ぎ口からしずくが落ちて、やけどのおそれ。
麦茶、紅茶などを入れる場合は充分こしてから入れる。

お湯が少ないときは、押し板を強く押さない。

注ぎ口からお湯が飛び散り、やけどのおそれ。

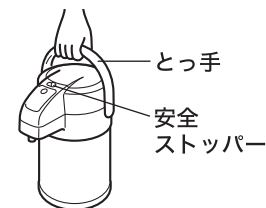
持ち運ぶときは、

●安全ストッパーを必ず「ロック」にし、振動(特に上下の振動)を加えない。

●とっ手を持って運ぶ。ふたや横を持ったり、傾けて運ばない。

●テーブルなどに置くときは、衝撃を与えないよう、そっと置く。

お湯が出て、やけど・汚れの原因。



すてるときは、

ふた・パイプを取りはずし、注ぎ口を横に向けてすてる。

注ぎ口を下に向けてすてると、注ぎ口からお湯が出て、やけど・他のもを汚す原因。また、パイプをはずさないですてると、肩の内部に飲み物が入り、肩からしみ出してくるおそれ。

分解・修理はしない。

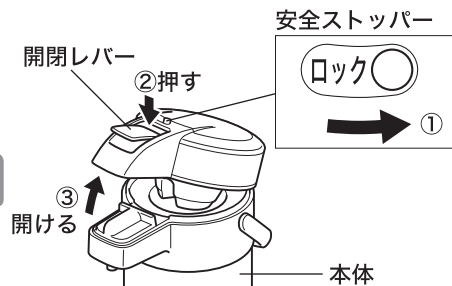
故障や事故の原因。

使いかた

1 安全ストッパーを「ロック」にし、ふたを開ける。

はじめて使うとき

本体内側・パイプを洗う。
→P.5・6

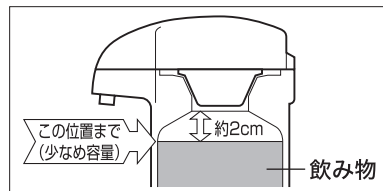


2 保温(保冷)効果を高めたいときは、少量の熱湯(冷水)を入れ、1～2分予熱(予冷)する。

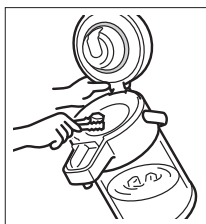
予熱(予冷)後は、お湯(水)をすてる。→P.5

3 熱い(冷たい)飲み物を入れる。

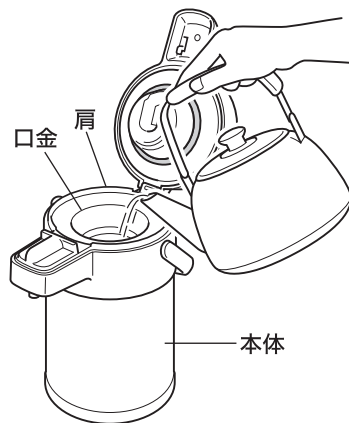
●飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。



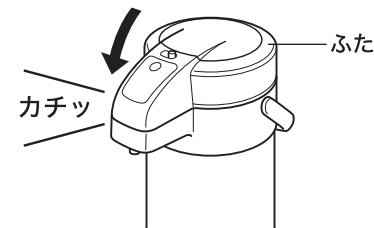
●氷を入れるときは、先に飲み物を入れ、小さく砕いた氷を、ポットを傾けてすべらせるように入れる。



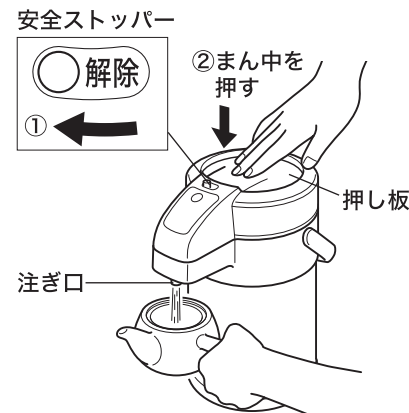
●本体にはお湯を入れ、お茶のときはティーバッグなどをおすすめします。(熱いお茶を入れると、お茶の色が変わることがあります。)



4 ふたを閉める。「カチッ」と音がするまで、確実に閉める。



5 安全ストッパーを「解除」にし、急須(容器)を注ぎ口に近づけ、押し板をゆっくり押して飲み物を注ぐ。

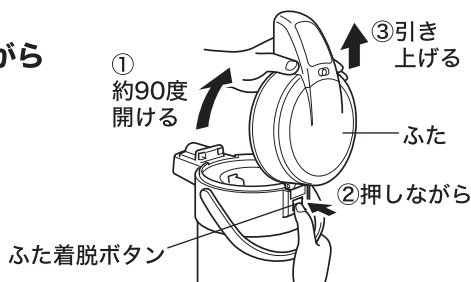


6 注ぎ終わったら、安全ストッパーを必ず「ロック」にする。

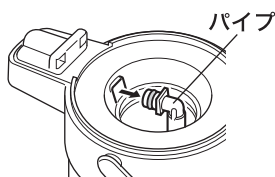


使い終わったら

- 1** ふたを約90度開け、
ふた着脱ボタンを押しながら
ふたを引き上げてはずす。

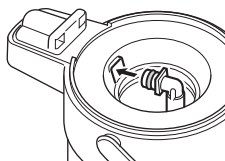


- 2** 冷めてから、
パイプをはずす。

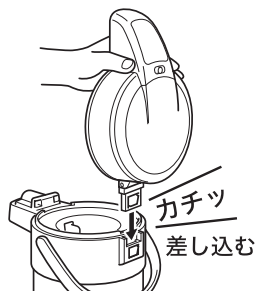


- 3** 残った飲み物を、注ぎ口を横に向けてゆっくりする。

- 4** お手入れし、
パイプをつける。
お手入れのしかた→P.6



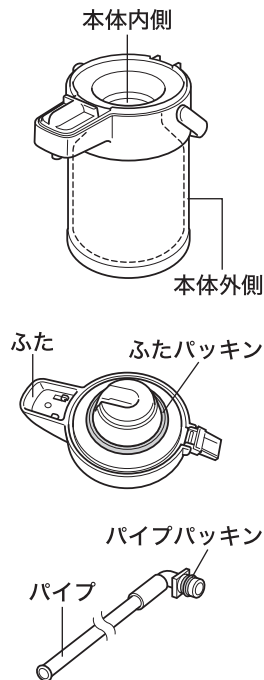
- 5** ふたをつける。
「カチッ」と音がするまで確実につける。



お手入れのしかた

- ◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆洗剤は、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使う。
- ◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。

本体内側 ふたパッキン パイプ	① 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で十分にすすぐ。 ② 十分に乾燥させる。 においを防ぐために ご使用前や、お湯以外のもの(お茶や糖分を含んだものなど)を入れた後は、熱湯を入れて注湯をくり返し、充分にお手入れすると、においを防ぎ、清潔にご使用いただけます。
注ぎ口内部	① 本体(パイプセット状態)に、洗剤をうすめたお湯を入れる。 ② 押し板をくり返し押し、お湯を全部注ぎ口から出し、すてる。 ③ 本体内側をお手入れする。 → 上記 
本体外側 ふた	① 布を、洗剤をうすめたお湯にひたし、かたくしぼってふく。(丸洗いしない。) ② 乾いた布で洗剤分をふき取り、十分に乾燥させる。

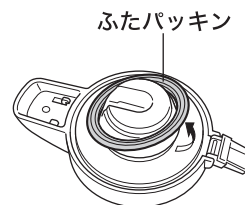


ご注意

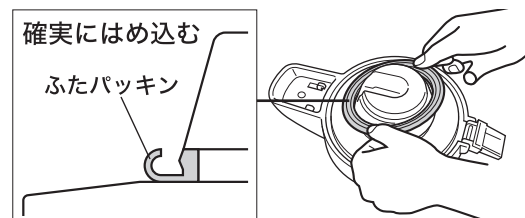
- 本体・ふたの丸洗い・つけおき洗いをしない。
- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使わない。
- 煮沸しない。
- ふた・パイプのパッキンは必ず取りつける。→ P.7
- 長期間使わないときは、十分に汚れを落とし、乾燥させ、湿気の少ない場所に保管する。

ふたパッキンのはずしかた・つけかた

はずしかた

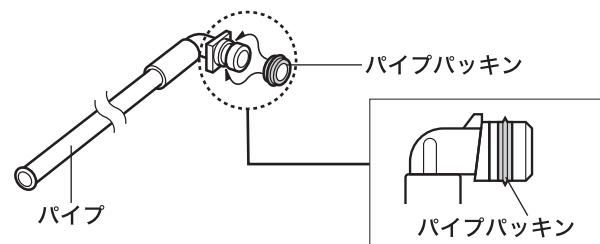


つけかた



パイプパッキンのつけかた

はずれたときは、
確実にはめ込む。



「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」が 本体内側に付着したときのお手入れ

「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」は、水の中に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)です。汚れが目立ってきたら、以下の手順でお手入れしてください。

- ① クエン酸(約10g)をぬるま湯でうすめて本体に入れる。
- ② 2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。

不具合が生じたときは

こんなとき	ご確認ください	直し方
飲み物が出ない、出にくい。	▶ パイプ・パッキンが確実にセットされていますか。 ▶ 注ぎ口内部がつまっていませんか。 ▶ パッキンが損傷していませんか。	▶ 確実にセットする。 →P.5・7 ▶ 注ぎ口内部をお手入れする。 →P.6 ▶ 損傷しているときは、お買い求めの上、交換してください。 →裏表紙
保温(保冷)が効いていない。	▶ 熱い(冷たい)飲み物を入れていませんか。 ▶ 飲み物の量が少なくありませんか。飲み物の量が少ないと、十分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。 ▶ 寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、十分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。	▶ 熱い(冷たい)飲み物を入れる。 →P.3
押し板がかたくて押しにくい。	▶ お湯を入れた場合、本体内側の圧力が高くなり、押し板がかたくなることがあります。	
注ぎ口からしずくが落ちる。	▶ 製品の構造上、注ぎ口からしずくが落ちることがありますが、性能には問題ありません。	
本体の金属部と樹脂部の間(注ぎ口の下あたり)から飲み物がたれる。	▶ 注ぎ口の出口内側に汚れがついていませんか。汚れがついていると、飲み物を注ぐ際にたれる場合があります。	▶ 注ぎ口の出口内側をお手入れする。
本体内側から異臭がする。	▶ 汚れが付着していたり、飲料物を長時間入れたままにしていますか。	▶ お手入れする。 →P.6
プラスチック部分に線状や波状のように見える箇所がある。	▶ 樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。	
お湯がにおう。	▶ 水道水に含まれる消毒用塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。 ▶ 使いはじめのうちは、樹脂などのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。 ▶ 周囲や内容物のにおいがパッキンに移ることがあります。	